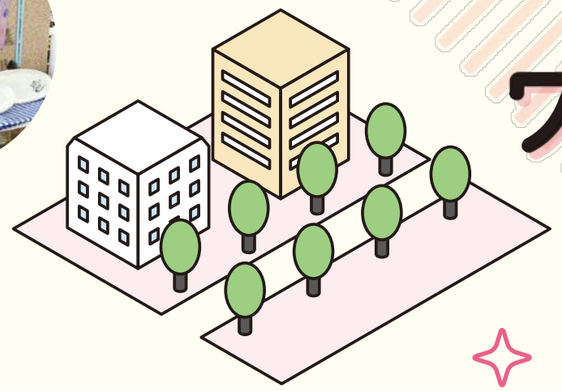


ワクワクな甲賀市

この甲賀市が好き　若い力で新たな挑戦

自分たちが住むこれからのまちを考えようと、若者たちによる新しいまちづくりへの取り組みをご紹介します。

ACTION 1

「未来甲賀市2022若者政策アイデアコンテスト」

若い力が未来の甲賀市をつくる！

若者が活躍できるまちをめざし行われた「若者政策アイデアコンテスト」。昨年11月19日(土)の発表会では12チームがアイデアを披露されました。今回、受賞された皆さんにお話をお聞きしました。

結果と詳しい発表資料はこちら▼

審査員賞

株式会社 JIBUNGOTO

政策テーマ「自他共楽の世界! ～私の居場所は、甲賀の良居場所～」

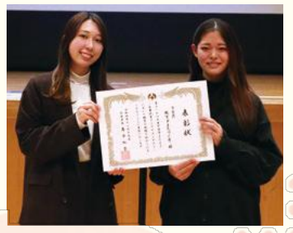
「みんなで意見をすり合わせることは難しいこともありましたが、時間をかけただけあり、賞をいただけたことがすごく嬉しいです。みんなが考える身近な課題を解決するため、思いを形にするきっかけになったと思っています。他のグループの方も、みんなめざすビジョンは同じなのだと感じました。

これを通過点として、私たちの思いが形につながるように、自分たちにできることを一歩一歩進めていけばいつか思いが形になると信じています。」

市長賞

教育でまちづくり

政策テーマ「つくる未来 つなぐ甲賀市 ～教育×まちづくり～」



「自分の考えを共有し、市の政策に携わることは初めてで、皆さんの前で思いをプレゼンできたことは新鮮で良い経験になりました。

子どもが主役で輝けるまちをめざしたいと思っています。

「教育」でこのまちに住んでみたい、住み続けたいというきっかけにつなげたいと思っています。」

オーディエンス賞

Choicy

政策テーマ「私甲賀市で育ってよかったわ! ～個性光る子どもが育つまち～」

「もともとまちづくりに興味があり、今回のコンテストを通じて政策を立案していく過程を学べたことはすごく良い経験になりました。

また、市内にこんなにまちへの熱い思いをもっている人がいるのだと改めて感じました。子どもたちの居場所の選択肢がひとつでも増えていくよう今後も活動をしていければと思います。」

中学生が「新しい信楽焼」をテーマにデザインしたぽんぽこちゃん、信楽高原鐵道などの絵が描かれた3種類のお皿▼

ACTION 2

信楽中学生カンパニー

子どもたちが甲賀市で働きたい、住みたいと思うまちへ

仮想の会社を通じて、商品の企画・制作・販売などを実際に体験することで、伝統産業である信楽焼を通じた新しい可能性を楽しみながら探っていこうと地域住民と一緒に取り組む「信楽中学生カンパニー」。実行委員会代表の福山淳さんにお話をお聞きしました。

▲実行委員長の福山さん

「今回も地域の全面的な協力をいただき地元の作業所やコンビニエンスストアと連携し3種類のデザイン皿を昨年12月に市内3店舗で販売することができました。

将来の甲賀市を担ってくれる子どもたちに、このまちで働きたい、住みたいと思ってもらえるような、そんな取り組みをこれからも続けていきたいと思います。」

ACTION 3

『防災かるた』×水口東高校

国を越えてみんなが助け合えるまち

▼誰にでもわかりやすいようにとやさしい日本語で作られた防災かるた

“多文化共生”をテーマに、『防災かるた』を広めようと取り組んでいる水口東高校の生徒の皆さんにお話をお聞きしました。

▲「防災かるたを通じてみんなが助けあっていけるまちにしたいです。」と話す、水口東高校の生徒の皆さん

「先輩から引き継ぎ、より多くの地域でも活用できるようにとさらなる改良を加えました。甲賀市は外国籍の方が県内でも多く、災害時には、みんなで助け合えるきっかけにしたいと、この防災かるたを市内に広めていきたいと考えています。」

「この取り組みを通じて普段話せない人たちとも話すきっかけになり、また、地域の方々ともいろいろと関係が築けていけることが楽しいです。今後もより良いものにして、外国人も日本人も一緒に防災のことをより多くの方に知ってもらいたいと思っています。」

ACTION 4

国際交流フェスタ実行委員会

誰が主役になっても良い

多くの来場者でにぎわった「国フェス2022」▼

昨年多くの来場者で賑わった「国ふぇす」の実行委員会メンバーにお話をお聞きしました。

「フェスタでは、実際に見て、食べて、感じて、甲賀市のことをもっと知ってもらう、また、単なるイベントではなく、関わった人たちみんながつながっていくことが目的です。これまでの『来てもらおう』から『一緒にやろう』という雰囲気に変わってきました。参加者の中には次からは実行委員として関わっていく方も増えてきました。誰が主役になっても良い、それがこのフェスタの良さです。

昨年は約1,500人と多くの方に来ていただきました。これは、みんなが口コミで伝えてくれたこと、また私たちのつながろうという思いがみんなに伝わった結果だと思っています。

甲賀市は誰もが優しく受け入れてくれる、素晴らしいまちです。困ったときにはみんなで助け合える、そんな温かいまちの良さをこれからもさらに伸ばしていける、大人も子どももみんなが一緒に楽しめる“顔の見えるつながり”をつくっていくためのフェスタであり続けるのが私たちの未来図です。」

▲「これからもみんながつながれるフェスタにしていきたいです。」と話す実行委員会のメンバーの皆さん

自分たちが“住みたい”と思うまちへ

このまちが好き、こんなまちにしたい、若い力でまちをより魅力的で元気に、そんな皆さんの思いが形にできるよう甲賀市はこれからも全力でサポートしていきます。